

## 令和6年度都立杉並工科高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回漢字テストを実施</li> <li>・毎時間、本時の目標に対する自身の取り組みを振り返らせる</li> <li>・ICT機器の効果的な使用方法を教科内で共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路活動に向け、作文や小論文作成の練習を段階的に行う</li> <li>・各種コンクール等への出品を促す</li> </ul>
地理歴史	基礎基本的な内容の理解を深める 地理や歴史の見方・考え方を学ぶことを通して、よりよい社会を築いていく資質を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本的な内容の定着</li> <li>・地理総合では教科書準拠ノートの活用</li> <li>・ICT機器など視覚的な教材の有用な活用</li> <li>・よりよく生きていくために主体的に学ぶ姿勢を養う取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書物やインターネットなどを利用して主体的に学び、課題を解決する</li> <li>・発表などを通してプレゼンテーション能力を学ぶ</li> </ul>
公民	基礎基本的な内容の理解を深める 現代の諸課題を解決する主体的な学びを通して、よりよい社会を築いていく資質を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本的な内容の定着</li> <li>・ICT機器など視覚的な教材の有用な活用</li> <li>・よりよく生きていくために主体的に学ぶ姿勢を養う取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書物やインターネットなどを利用して主体的に学び、課題を解決する</li> <li>・発表などを通してプレゼンテーション能力を学ぶ</li> <li>・特進クラスでは、大学進学を意識した問題演習を取り入れる</li> </ul>
数学	数学的思考力・判断力・表現力の育成に向けた活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある問題や事象において、解法を2つ以上提示する、または生徒の考えを引き出して活かすような授業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見方を変えて考えてみる、理由を説明するなど、内容の理解をより深められるような授業実施、一人一台端末による課題提示</li> </ul>
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校での既習内容を振り返りながら、進めていく</li> <li>・一人一台端末を活用して小テストを実施し、生徒自身が学習到達度を把握できるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な科学に興味を持ち、学習内容と関連付けて考える</li> <li>・実験を通して、思考力やレポートのまとめ方を学習</li> </ul>
保健体育	ルールやマナーを大切にし相手を尊重した取り組みができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識を持ち、公正な態度で主体的に取り組ませるよう指導する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに高いレベルで活動できるよう指導する</li> </ul>
音楽	段階的な学習活動による、体系的な理解を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識を持った技能習得を目指す教科書、プリント類、インターネットを活用し、知識体系を強化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人の個人的興味から何を学習するのか、目標を引き出すそれらを全員にフィードバックすることにより、話し合い活動、知識シェアを充実させ、学習活動に面白みを持たせる</li> </ul>
美術	造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と関わる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の骨格を知る</li> <li>・イラストや書体の歴史について学ぶ</li> <li>・立体的な構造を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の頭蓋をベースに自画像を描く</li> <li>・画材の特性を理解した上で、ボールペンで白黒イラストを描く</li> <li>・カリグラフィーによる作品の制作</li> <li>・歴史的建造物や多面体をペーパークラフトで組み立てる</li> </ul>
英語	英語を積極的に声に出すこと、英語を自ら進んで読んで理解しようとする指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で基礎力テストの問題分析会を実施</li> <li>・アクティブラーニング、ペアワークを積極的に取り入れて英文の音読練習を徹底して行う</li> <li>・文法問題集を活用した基本的英文法の定着</li> <li>・単語集を用いた基礎的英単語の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューテストやスピーチテストなどを行い、自ら考えた英文を発話することが出来るように、外国人指導員と一緒に指導していく</li> <li>・2人の外国人指導員を積極的に活用し、毎回の授業で英語で会話できるよう指導していく</li> </ul>
家庭	基礎的な知識と技能を定着させる学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を精選し、実践的・体験的な学習活動を充実させる</li> <li>・「本時の学習目標」に対する取り組みを生徒自身が評価する「振り返り」を行うことで、学習内容の定着と意欲の喚起につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での学びをもとに、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を振り返り、考察したことを論理的に表現する課題を計画し、実践する</li> </ul>

## 令和6年度都立杉並工科高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
機械	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を発見し、課題解決のための年間のスケジュール管理を行う</li> <li>・課題に対して探究を行っていき、文化祭や学内の発表会で研究結果を報告する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動を振り返り考察を深め、改善点を見つけ出す</li> <li>・拠点校実習を通して、様々な技術に触れスキルアップを目指す</li> </ul>
電子	電子・情報・通信に関する基礎的な知識と技術を習得し、主体的に学ぶ意欲を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を通して社会人として必要なマナー・礼儀・表現力・基本的な生活習慣を身に付ける</li> <li>・3年間の学習の集大成として課題研究発表会を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種、電子・情報に関連する資格検定試験取得に取り組む</li> <li>・幅広い分野を学ぶことにより、就職・進学などの次の進路への選択肢を増やす。</li> </ul>
理工環境	化学やバイオ、環境問題の知識・分析技術を習得し、環境問題を理解し、確に判断する能力を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物取扱者、品質管理、初級バイオ技術者などの資格指導を行う</li> <li>・実習において化学分析やバイオ操作、環境分析技術を習得させ、課題研究や研究発表を行わせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学系をはじめとする各種資格取得を目指した指導を行う</li> <li>・課題研究で環境問題の解決につながるテーマの研究・発表を指導する</li> </ul>
IT・環境	「情報技術」を活用するための指導の充実 情報化社会および環境についての課題解決に向けた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学においては、電気・電子に関する基礎的基本的な知識の定着を図る</li> <li>・情報に関わる授業では実際の情報端末の操作に習熟させるとともに、大学入試共通テスト「情報」に向けた対策を行う</li> <li>・実習科目においては、電気・電子・情報・環境の幅広い分野について取り扱い、ITや環境に関わる技術を総合的に体験する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い分野を学ぶことにより、進路の選択肢を増やす</li> <li>・2年次および3年次の課題研究(探究の代替)において、課題解決に向けた実践的な知識・技能を身につける</li> </ul>